

# なみだ



Ⅱ テモテ 1:4~5 わたしは、あなたの涙を覚えているので、あなたに会って、喜びに満たされたいと願っています。私はあなたの純粋な信仰を思い起こしています。そのような信仰は、最初あなたの祖母ロイスと、あなたの母ユニケのうちに宿ったものですが、それがあなたのうちにも宿っていることを、私は確信しています。

1. 全世界が隠れた問題のために苦しんでいます
  - 1) 創世記3:4~5、6:4~5、11:1~8
  - 2) 使徒の働き 13:1~12、16:16~18、19:8~20
  - 3) ヨハネの福音書8:44
2. イスラエルは属国状態でした
  - 1) 使徒の働き 1:6~7
  - 2) マタイの福音書27:25
3. 初代教会は迫害を受けていました
  - 1) マタイの福音書28:1~15
  - 2) 使徒の働き 1:1~14
  - 3) 使徒の働き 2:1~13

聖日（主の日）のために、  
礼拝の準備をして礼拝をささげみことばを  
私の生活に適用することまで、すべてが礼拝です

神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって  
礼拝しなければなりません。（ヨハネ 4:24）

🕊️ 礼拝時間に必要なものを準備できたかチェックするのに使ってください

- 聖書
- 献金
- 筆記用具
- <子どもの祈りの手帳>
- 週報を読む



タイトル

聖書箇所

-----

-----

-----

-----

-----

📖 **今週握るみことば**

🕊️ **今週の祈りの課題**

-----

-----

-----



## せいかつ

**Ⅱ テモテ 2:1~7** そこで、わが子よ。キリスト・イエスにある恵みによって強くなりなさい。多くの証人の前で私から聞いたことを、他の人にも教える力のある忠実な人たちにゆだねなさい。キリスト・イエスのりっぱな兵士として、私と苦しみをともにしてください。兵役についていながら、日常生活のことに掛かり合っている者はだれもありません。それは徴募した者を喜ばせるためです。また、競技をするときも、規定に従って競技をしなければ栄冠を得ることはできません。労苦した農夫こそ、まず第一に収穫の分け前にあずかるべきです。私が言っていることをよく考えなさい。主はすべてのことについて、理解する力をあなたに必ず与えてくださいます。

### 1. パウロはテモテを「わが子よ」と呼びました

- 1) キリスト・イエスの中のように言いました
- 2) 恵みの中のように言いました
- 3) 恵みにあって強くなりなさいと言いました

### 2. 生活について言いました

- 1) 霊的兵士になりなさいと言いました (Ⅱ テモテ 2:3~4)
  - (1) キリスト・イエスのりっぱな兵士として、私 (パウロ) と苦しみをともにしてくださいと言いました
  - (2) 日常生活のことに掛かり合っている者はだれもないと言いました
  - (3) 徴募した者を喜ばせるためですと言いました
- 2) 競技する者であると言いました (Ⅱ テモテ 2:5)
  - (1) 競技する者は規定に従って競技をしなければならないと言いました
  - (2) そうしなければ栄冠を得ることはできないと言いました
- 3) 農夫であると言いました (Ⅱ テモテ 2:6)
  - (1) 労苦する農夫になりなさいと言いました
  - (2) 彼はまず、第一に収穫の分け前にあずかるべきであると言いました

3. 主はすべてのことについて、理解する力を必ず与えてくださると言いました (Ⅱ テモテ 2:7)

聖日 (主の日) のために、  
礼拝の準備をして礼拝をささげみことばを  
私の生活に適用することまで、すべてが礼拝です

14  
聖日 (主日)

神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって  
礼拝しなければなりません。(ヨハネ 4:24)

礼拝時間に必要なものを準備できたかチェックするのに使ってください

聖書 献金 筆記用具 <子どもの祈りの手帳> 週報を読む



## タイトル

聖書箇所

-----

-----

-----

-----

-----

-----

今週握るみことば

今週の祈りの課題

-----

-----

-----

-----

-----

-----

かくしん



Ⅱ テモテ 3:14~17 けれどもあなたは、<sup>まな</sup>学んで<sup>かくしん</sup>確信したところにとどまっていなさい。あなたは<sup>じぶん</sup>自分が、どの人たちからそれを<sup>まな</sup>学んだかを知っており、また、<sup>おさな</sup>幼いころから<sup>せいしょ</sup>聖書に親しんで来たことを知っているからです。聖書はあなたに<sup>ちゑ</sup>知恵を<sup>あた</sup>与えてキリスト・イエスに対する<sup>しんこう</sup>信仰による<sup>すく</sup>救いを受けさせることができます。聖書はすべて、<sup>かみ</sup>神の<sup>れい</sup>霊感によるもので、<sup>おし</sup>教えと<sup>いまし</sup>戒めと<sup>きょうせい</sup>矯正と<sup>ぎ</sup>義の<sup>くんれん</sup>訓練とのために<sup>ゆうえき</sup>有益です。それは、<sup>かみ</sup>神の<sup>ひと</sup>人が、すべての<sup>よ</sup>良い<sup>はたら</sup>働きのために<sup>ふさわしい</sup>十分に<sup>ととの</sup>整えられた者となるためです。

1. <sup>お</sup>終わりの<sup>ひ</sup>日には<sup>こんなん</sup>困難な<sup>じだい</sup>時代がやってくるといいました
  - 1) 人々は<sup>じぶん</sup>自分を愛すると言いました (Ⅱテモテ 3:2)
  - 2) 神よりも<sup>かみ</sup>快樂を愛する者になるといいました (Ⅱテモテ 3:4)
  - 3) <sup>さま</sup>さまざまな<sup>じょうよく</sup>情欲に引き回されるといいました (Ⅱテモテ 3:6)
2. <sup>お</sup>終わりの<sup>とき</sup>を<sup>よそ</sup>予想しました
  - 1) キリスト・イエスにあつて<sup>はいけん</sup>敬虔に<sup>いきよう</sup>生きようと願う者はみな、<sup>はくがい</sup>迫害を受けるといいました (Ⅱテモテ 3:12)
  - 2) <sup>だまし</sup>だましたり<sup>だまされ</sup>だまされたりすると言いました (Ⅱテモテ 3:13)
3. <sup>まな</sup>学んで<sup>かくしん</sup>確信したところにとどまっていなさいと言いました
  - 1) どの人たちからそれを<sup>まな</sup>学んだかを知っていなさいと言いました (Ⅱテモテ 3:14)
  - 2) 聖書はあなたに<sup>ちゑ</sup>知恵を<sup>あた</sup>与えてキリスト・イエスに対する<sup>しんこう</sup>信仰による<sup>すく</sup>救いを受けさせることができるといいました (Ⅱテモテ 3:15)
  - 3) 聖書は、<sup>かみ</sup>神の<sup>ひと</sup>人に<sup>ふさわしい</sup>者となるためであると言いました (Ⅱテモテ 3:17)

せいじつ (主の日) のために、  
れいはい じゆんぴをして<sup>れいはい</sup>礼拝をささげみことばを  
わたし せいけつ てきまよう 私の生活に適用することまで、すべてが<sup>れいはい</sup>礼拝です



<sup>かみ</sup>神は<sup>れい</sup>霊ですから、<sup>かみ</sup>神を<sup>れいはい</sup>礼拝する者は、<sup>もの</sup>霊とまことによって<sup>れいはい</sup>礼拝しなければなりません。(ヨハネ 4:24)

🦋 <sup>れいはい</sup>礼拝時間<sup>ひつよう</sup>に必要なものを<sup>じゆんぴ</sup>準備できたか<sup>つづ</sup>チェックするのに使ってください

- <sup>せいしょ</sup>聖書
- <sup>けんきん</sup>献金
- <sup>ひっきようぐ</sup>筆記用具
- <sup>こ</sup>子どもの<sup>いの</sup>祈りの<sup>てちよう</sup>手帳
- <sup>しゅうほう</sup>週報



タイトル

せいしょかしょ 聖書箇所

-----

-----

-----

-----

-----

<sup>こんしゅうにぎ</sup>今週握るみことば

<sup>こんしゅう</sup>今週の<sup>いの</sup>祈りの<sup>かだい</sup>課題

-----

-----

-----

-----

# でんどうしゃ



**Ⅱ テモテ 4:1~5** 神の御前で、また、生きている人と死んだ人とをさばかれるキリスト・イエスの御前で、その現われとその御国を思って、私はおごそかに命じます。みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりやりなさい。寛容を尽くし、絶えず教えながら、責め、戒め、また勧めなさい。というのは、人々が健全な教えに耳を貸そうとせず、自分につごうの良いことを言ってもらうために、気ままな願いをもって、次々に教師たちを自分たちのために寄せ集め、真理から耳をそむけ、空想話にそれて行くような時代になるからです。しかし、あなたは、どのような場合にも 憤り、困難に耐え、伝道者として働き、自分の務めを十分に果たしなさい。

## 1. 明らかな事実を言いました

- 1) 神の御前で命じました (Ⅱ テモテ 4:1)
- 2) 生きている人と死んだ人とをさばかれるキリスト・イエスの御前で命じました (Ⅱ テモテ 4:1)
- 2) その現われを思って命じました (Ⅱ テモテ 4:1)
- 3) その御国を思って命じました (Ⅱ テモテ 4:1)

## 2. みことばを宣べ伝えなさいと言いました

- 1) 時が良くても悪くてもしっかりやりなさいと言いました (Ⅱ テモテ 4:2)
- 2) 人々が健全な教えに耳を貸そうとしないときが来ると言いました (Ⅱ テモテ 4:3)
- 3) 空想話にそれて行くような時代になると言いました (Ⅱ テモテ 4:4)

## 3. パウロは勇敢に戦い、走るべき道のりを走り終え、信仰を守り通したと告白しました

- 義の栄冠が私のために用意されていると言いました (Ⅱ テモテ 4:8)

聖日 (主の日) のために、  
礼拝の準備をして礼拝をささげみことばを  
私の生活に適用することまで、すべてが礼拝です



神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって  
礼拝しなければなりません。(ヨハネ 4:24)

礼拝時間に必要なものを準備できたかチェックするのに使ってください

- 聖書
- 献金
- 筆記用具
- 子どもの祈りの手帳
- 週報を読む



## タイトル

## 聖書箇所

-----

-----

-----

-----

-----

## 今週握るみことば

## 今週の祈りの課題

-----

-----

-----

-----